

臨床心理学研究科 臨床心理学専攻 専門職学位課程

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各研究科・専攻は、それぞれの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専門領域ごとの特色を活かした教育方法による教育・研究を行っています。そしてその教育方法に特色ある工夫を重ね、教育・研究内容の向上に取り組んでいます。

【教育方法】

臨床に特化した「心のケアのスペシャリスト」を養成する専門職大学院です。高度な専門性と臨床現場における即戦力となる専門領域におけるスペシャリストを養成するために、多様な領域の教員による指導と多彩な臨床実習の場を用意しています。さらに、人間としての教養を深め、心理臨床家としての資質を高めるために、臨床心理センター教員や研究科教員の指導の下、スーパービジョンやケースカンファレンスによる振り返りを実施しています。学生の皆さんが、修士課程を通して、臨床心理専門家の養成の使命が、地域の人々の福利にあることを理解し、生涯に亘って臨床家として自己研鑽を積んでいくように教育しています。

【教育の特色ある工夫】

- ・ 様々な領域で心の問題に的確な支援ができる実践的な心理臨床家の養成を目指し、以下の特色を有する教育を行っています。
- ・ 授業と演習・実習を相互に関連させるなど、理論的教育と実務的教育を適切に組み合わせた教育を実施しています。
- ・ 研究科専任教員 12 人と臨床心理センター教員 4 人により、さまざまな背景をもつ大学院生（1 学年定員 15 人）に、きめ細かい個人指導を実施するとともに、すべての教育場面で積極的な発言や討論を促し、問題を的確に捉えて主体的に考える能力の育成を目指しています。
- ・ 学内の臨床心理センターにおいて、個別のスーパービジョンを行いつつ臨床事例を担当させ、ケースカンファレンスでの発表等を通して自ら考える経験を積み重ね、事例研究論文としてとりまとめるよう、丁寧な指導を行っています。
- ・ 外部実習は、学校・教育、医療・福祉、地域保健・産業の全ての領域を経験し、特に志望する領域で豊富な学びの機会を提供して実践能力の修得を図っています。